

学生・若手企業研究者シンポジウム (PRIS2021)

開催趣意書

次世代を担っていく学生・若手企業研究者の所属の枠を超えた交流および忌憚のないプレゼンテーションやディスカッションを行うことを目的として、日本薬物動態学会第36回年会においても学生・若手企業研究者シンポジウム「The Predoctoral Researcher-Initiative Session (PRIS)2021」を開催いたします。

PRIS2019からのシンポジウムでは若手企業研究者の方々も積極的に参加していただき、より活発な議論となりました。そのため、本年度も継続して若手企業研究者の方々の募集を行っていきたいと考えています。また、PRIS2021ではテーマを、「ポストコロナ時代でも止まらない若手研究者の挑戦」に設定し、新型コロナウイルス感染症による研究活動の制限の中で進めてきた最先端研究を議論する場となることを期待しております。このテーマに基づき選出された博士号取得前の学生・若手企業研究者から5名および薬物動態研究を牽引されてきたスペシャリストの先生1名による講演を予定しております。日本薬物動態学会は、国際学会との結びつきが強く、今まで発表言語を英語としてきました。今年は、昨年より続いた新型コロナウイルス感染症等の影響により学会で議論を行うことが少なくなりました。そのため、本年度は幅広い分野からの活発な議論や交流が学生を主体として行えるよう質疑応答の時間を8分間、言語を日本語に設定しました。例外として若手研究者には英語での発表をお願いしたいと考えております。

本シンポジウムが、次世代を担う学生・若手企業研究者の活躍につながる成長の場となることを期待しております。

最後に、活発な議論や交流に関心を寄せる学生・若手企業研究者ならびに薬物動態研究に貢献されてきた学会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

謹白

令和3年3月吉日

学生オーガナイザー

- ・東京薬科大学大学院 薬学研究科 苫米地 隆人
- ・千葉大学大学院 薬学研究院 池山 佑豪